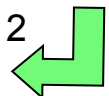


第97回 キャリア教育の評価研究～動向と課題～

- キャリア教育とは
- キャリア教育の評価方法分類
 - 内浦・毛受（2008）による分類：①能力・コンピテンシー、②学習意欲、③職業観・就業観、④自己効力感
 - 寺島（2008）⑤進路
選択・就職との関連にもとづく中長期的な評価
- 課題
 - 評価の目的、正課・正課外の連携、対象者・進路・学習目標と評価との関連
 - IDの観点から

キャリア教育とは・・・

- 平成23年度より教育課程内外を通じたキャリアガイダンスの実施が法令上明確化
- キャリア:「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」
- キャリア教育:「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」
- 教育目的や学部・学科の種類、規模、あるいは実施時期によって多岐にわたる

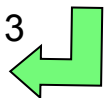


内浦・毛受(2008)による従来のキャリア教育 の評価研究分類

1. 「能力・コンピテンシーを基準にした評価」
2. 「学習意欲を基準にした評価」
3. 「職業観・就業観を基準にした評価」
4. 「自己効力感を基準にした評価」

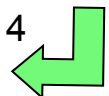
→ ある特定の科目において授業開始時と終了時
に調査を行い、前後比較を行う方法が一般的

【参考文献】内浦有美，毛受芳高(2008)「キャリア教育の評価--「情動の喚起」と「気づき・意欲・行動の変容」の関係性に着目した評価視点の提唱」Works review 3: 196-209



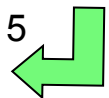
評価方法①: 能力・コンピテンシーを基準にした評価

- 代表的な能力・コンピテンシー基準
 - 社会人基礎力(経済産業省)
 - 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」
 - 中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会(2010年5月)
 - 「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」
- 大学・学部独自のコンピテンシーリスト



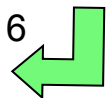
評価方法②: 学習意欲を基準にした評価

- 学生自身による自己評価
 - 授業への取り組み態度
 - 受講意欲
 - 学習態度
- 客観的指標
 - 受講状況データ



評価方法③: 職業観・就業観を基準にした評価

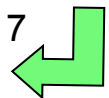
- キャリア意識
- キャリア形成態度
- キャリアマインド(梅澤 2007)
- 「キャリアに関する迷信」
(Amundson&Poehnell 2004)



評価方法④: 自己効力感を基準にした評価

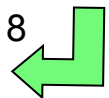
- Bandura(1977)の自己効力を進路関連領域に取り入れたセルフ・エフィカシー研究
- 浦上(1995, 1996)による「進路選択に対する自己効力尺度」
 - Taylor&Betz(1983)のCDMSE尺度を日本の風土に合わせて置き換え

【参考文献】富永 美佐子(2008)「進路選択自己効力に関する研究の現状と課題」キャリア教育研究 25(2), 97-111



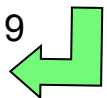
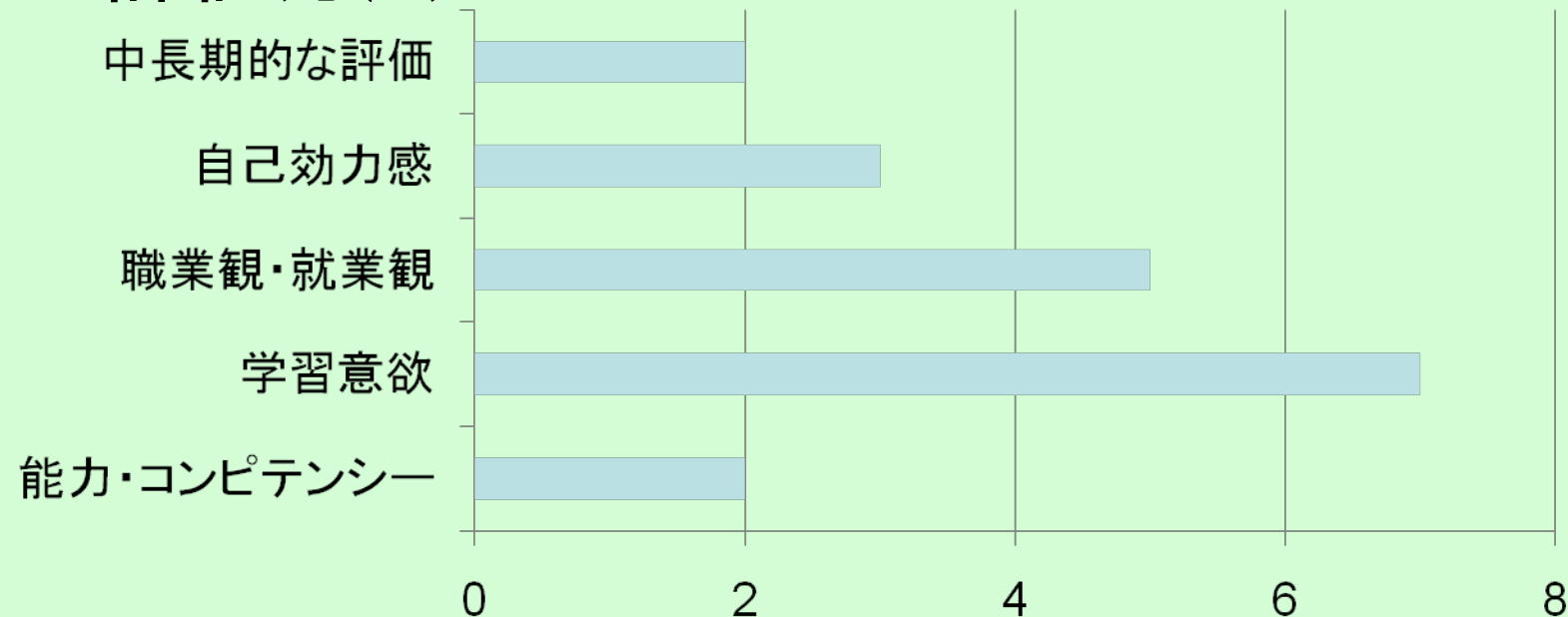
評価方法⑤: 進路選択・就職との関連にもと づく中長期的な評価

- 寺島(2009)
 - キャリア教育科目の受講が大学での学びの充実や進路決定・職業選択などにどのように効果をもたらしたかという波及的効果の検討が必要
 - 大学での学びや将来の進路・職業の選択までを対象とした効果測定
- 入学時から卒業時までのデータ収集
 - 学修、キャリア意識、行動の変化、進路決定...
- 【参考文献】寺島和夫(2009)「キャリア教育の有効性と方向性に関する実証的研究(1): 経営学部キャリア教育の試みと「実践・キャリア形成論 I」受講生の評価を中心に」龍谷大学経営学論集 49(1): 47-66



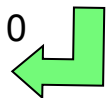
国内の高等教育機関における実践例の収集 と分類

- 8つの論文の中で採用されている学習成果
の評価方法



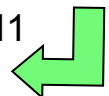
収集した論文

1. 河崎智恵, 岩本廣美, 仲川元庸(2011)「教員養成系大学におけるボランティアを核としたキャリア教育の実践」奈良教育大学教職大学院研究紀要 3: 21-28
2. 大和里美(2010)「キャリア教育における参加型授業の有効性に関する検討：テキストマイニングによる効果分析」太成学院大学紀要 12, 139-149
3. 中間玲子(2008)「キャリア教育における教育効果の検討：キャリアに対する態度と自己の変化に注目して」京都大学高等教育研究 14: 45-57
4. 羽石寛寿, 安久典宏, 西岡久充“大学におけるキャリア支援教育の研究”, 経営情報研究：摂南大学経営情報学部論集 15(2), 89-108, 2008
5. 岡田龍樹(2009)「大学生のキャリア意識の育成ー 授業「キャリア・デザイン」の効果分析ー」天理大学生涯教育研究 13: 13-20
6. 松高 政(2008)「大学の教育力としてのキャリア教育：京都産業大学におけるパネル調査分析から」京都産業大学論集. 社会科学系列 25: 145-168
7. 寺島和夫(2009)「キャリア教育の有効性と方向性に関する実証的研究(1)：経営学部キャリア教育の試みと「実践・キャリア形成論 I」受講生の評価を中心に」龍谷大学経営学論集 49(1): 47-66
8. 窪田 和美, 吉富 千恵(2008)「短期大学におけるキャリア教育：キャリア教育科目の実践と学生の満足度」龍谷大学論集 471: 106-135



評価研究の課題

- 何のための評価か
 - ある科目の効果を明らかにするため？
 - 評価方法や尺度の有効性を示すため？
 - 学習者のためになる評価？
- 正課・正課外の連携 → ポートフォリオ？
- 対象者・進路・学習目標と評価との関連
 - 機関の属性、学生の属性によってキャリア教育のニーズ、めざすところは異なる
 - 目標に応じた評価方法



課題: IDの観点から

- IDの観点から
 - ARCS動機づけモデルの適用
 - 処方的研究: ARCSモデルを適用した科目の設計
 - 評価研究: ARCSモデルを手がかりとした学習意欲の実態把握方法の研究
 - 学習技能としてのARCSモデル: 生涯にわたって学び続ける、キャリアを主体的に形成する能力

